

## 無火災記録

財団法人 消防科学総合センター

研究員 徳永英夫

第9回目の今回は「無火災記録」と題し、昭和62年から平成3年までの5年間の火災報告データより、全国の市町村及び政令指定都市区(東京23区を含む。以下同じ)において連続して火災の発生しなかった日が何日位あるか、火災による死者の発生しない日が連続何日位あるかなどを調べてみた。

集計に先立って次のようなデータの補正を行った。他市区町村からの延焼による火災は消防年報等の集計では出火件数に計上していないが、今回の集計では火災発生有りとして扱った。また、昭和62年から平成3年の間における市区町村の廃置分合等に対しては、単に村から町に、或いは町から市に変わった場合は、どちらか一方の市区町村コードを統一して処理し、他市区町村へ編入されるなどして期間途中で存在しなくなった場合はその市区町村が存在していた期間のみを集計対象とした。ただし、昭和62

年及び63年に統合され、新たにつくば市となった4町1村については、全期間つくば市として集計した。また、平成元年に北区及び中央区になった大阪市の旧北区、旧淀川区及び旧東区、旧南区は全期間それぞれ統一後の北区及び中央区として集計した。

また、今回の集計に用いた人口データは平成3年3月31日現在の住民基本台帳人口である。

第1表に人口区分別の市区町村数、5年間の総出火件数、総死者数、1市区町村における平均出火間隔及び平均死者発生間隔を示す。市区町村数及び火災件数の全国合計が火災年報等の発表値と若干異なるのは、前述の補正処理のためである。

第2表から第5表に人口区分別の連続無火災日数の上位20位を示す。ただし、第2表の人口5万人未満の市町村については、5年間火災発生の無かった町村が27町村あつ

第1表 人口区分別平均出火間隔等

人口区分	市区町村数	5年間総火災件数	1市区町村における平均出火間隔(日)	5年間総死者数	1市区町村における平均死者発生間隔(日)
5万人未満	2,810	89,915	57.1	3,466	1484.6
5万人以上10万人未満	229	36,606	11.4	1,168	358.0
10万人以上	199	97,060	3.7	3,210	113.2
政令指定都市区	142	62,187	4.2	1,521	170.5
全国合計	3,380	285,768	21.6	9,365	659.2

\* 東京都23区を含む

第2表 人口5万人未満の市町村における無火災記録（5年間無火災）

市町村名	都道府県名	人口
利島村	東京都	281
御蔵島村	"	267
青々島村	"	191
舟橋村	富山県	1,406
上平村	"	939
尾口村	石川県	934
本城村	長野県	2,594
奈川村	"	1,243
安曇村	"	2,428
清見村	岐阜県	2,626
荘川村	"	1,478
宮川村	"	1,298
富山村	愛知県	199
津具村	"	1,963
高月町	滋賀県	10,597
余呉町	"	4,793
西洗井町	"	5,364
安堵町	奈良県	8,763
野迫川村	"	854
上北山村	"	1,096
北山村	和歌山県	610
下蒲刈町	広島県	3,637
蟹敷町	徳島県	3,648
木沢村	"	1,194
由岐町	"	4,313
魚島村	愛媛県	405
座間味村	沖縄県	799

たので、その全ての町村名を示した。なお、表上での順序は市区町村コード順である。

第3表の人口5万人以上10万人未満の市町村における無火災記録のなかの第5位の京都府城陽市については、表外にも書いて

第3表 人口5万人以上10万人未満の市町村における無火災記録（上位20位）

順位	市町村名	都道府県名	人口	連続無火災日数(日)	無火災期間
1	向日市	京都府	52,310	318	昭和63年 1月 1日～昭和63年 11月 13日
2	日高町	埼玉県	53,085	316	昭和62年 5月 5日～昭和63年 3月 15日
3	茅野市	長野県	50,218	228	平成 元年 12月 22日～平成 2年 8月 6日
4	向日市	京都府	52,310	212	平成 3年 6月 3日～平成 3年 12月 31日
* 5	城陽市	"	83,684	207	平成 2年 3月 8日～平成 2年 9月 30日
6	逗子市	神奈川県	57,703	196	昭和62年 2月 12日～昭和62年 8月 26日
7	近江八幡市	滋賀県	65,912	194	平成 3年 4月 18日～平成 3年 10月 28日
8	中津市	大分県	66,163	188	昭和62年 6月 17日～昭和62年 12月 21日
9	亀岡市	京都府	85,794	178	昭和63年 4月 29日～昭和63年 10月 23日
10	城陽市	"	83,684	176	昭和63年 8月 25日～平成 元年 2月 16日
11	花巻市	岩手県	70,487	175	平成 元年 8月 1日～平成 2年 1月 22日
12	日高町	埼玉県	53,085	172	平成 元年 4月 22日～平成 元年 10月 10日
13	氷見市	富山県	61,822	170	昭和63年 9月 16日～平成 元年 3月 4日
14	"	"	"	169	昭和62年 4月 7日～昭和62年 9月 22日
15	大和郡山市	奈良県	93,984	168	昭和62年 1月 30日～昭和62年 7月 16日
16	花巻市	岩手県	70,487	163	昭和62年 4月 17日～昭和62年 9月 26日
17	浦添市	沖縄県	90,666	162	昭和63年 4月 19日～昭和63年 9月 27日
18	上福岡市	埼玉県	58,085	161	昭和63年 5月 21日～昭和63年 10月 28日
19	宇佐市	大分県	51,598	159	平成 2年 5月 26日～平成 2年 10月 31日
20	上福岡市	埼玉県	58,085	158	平成 2年 5月 17日～平成 2年 10月 21日

※ 第5位の城陽市は平成2年10月に出火日時不明の火災が1件有るため、10月1日に発生したものとして無火災日数を計算した。

あるように、平成2年3月8日から始まった無火災記録が同年10月中に発火した出火日時不明の火災まで続いている。このため正確な日数を求めるのは不可能であり、ここでは10月1日に発生したものとして集計した。

また、第3表以降の各表についても同様であるが、無火災あるいは無死者期間のスタート日が昭和62年1月1日となっている場合、その前日である昭和61年12月31日に火災あるいは死者が発生していたということではなく、今回の集計対象期間が昭和62年1月1日から平成3年12月31日までに限定したためである。従って、このような場合の連続日数は、実際にはもっと長い日数である可能性が高い。記録期間の最終日が平成3年12月31日の場合についても同様である。

人口5万人未満の市町村における無死者記録については、5年間火災による死者の発生のおく無い市町村が全 2,810 市町村中

第4表 人口10万人以上の市町村における無火災記録（上位20位）

順位	市町村名	都道府県名	人口	連続無火災 日数（日）	無火災期間
1	沖繩市	沖繩県	108,912	150	昭和62年6月11日～昭和62年11月7日
2	入間市	埼玉県	136,867	99	平成元年8月13日～平成元年11月19日
2	森野市	神奈川県	150,012	99	昭和63年5月3日～昭和63年8月9日
4	沖繩市	沖繩県	108,912	93	昭和63年7月19日～昭和63年10月19日
5	上田市	長野県	119,058	91	平成元年8月26日～平成元年11月24日
6	伊勢崎市	群馬県	114,828	89	平成元年5月5日～平成元年8月1日
6	入間市	埼玉県	136,867	89	昭和62年4月30日～昭和62年7月27日
8	海老名市	神奈川県	105,332	87	昭和62年7月1日～昭和62年9月25日
8	上越市	新潟県	128,684	87	昭和62年1月8日～昭和62年4月4日
8	沖繩市	沖繩県	108,912	87	平成元年2月4日～平成元年5月1日
8	〃	〃	〃	〃	平成2年5月12日～平成2年8月6日
12	酒田市	山形県	101,379	81	昭和62年7月5日～昭和62年9月23日
13	入間市	埼玉県	136,867	79	昭和62年1月1日～昭和62年3月20日
13	上越市	新潟県	128,684	79	平成元年2月6日～平成元年4月25日
15	〃	〃	〃	77	平成2年2月8日～平成2年4月25日
16	室蘭市	北海道	118,310	75	平成元年7月9日～平成元年9月21日
17	習志野市	千葉県	148,900	74	平成元年11月11日～平成2年1月23日
17	沖繩市	沖繩県	108,912	74	平成元年11月27日～平成2年2月8日
19	樺原市	奈良県	115,487	73	昭和63年9月25日～昭和63年12月6日
20	小松市	石川県	107,285	72	平成2年11月26日～平成3年2月5日

第5表 政令指定都市区における無火災記録（上位20位）

順位	区名	都市名	人口	連続無火災 日数（日）	無火災期間
1	東山区	京都市	49,341	150	平成2年2月4日～平成2年7月3日
2	〃	〃	〃	140	昭和63年7月11日～昭和63年11月27日
3	〃	〃	〃	137	平成元年6月3日～平成元年10月17日
4	北区	〃	118,618	121	平成元年5月24日～平成元年9月21日
5	中央区	〃	92,702	117	平成2年7月18日～平成2年11月11日
6	下京区	〃	71,965	114	昭和63年3月15日～昭和63年7月6日
7	上京区	〃	83,316	109	昭和63年5月11日～昭和63年8月27日
8	東山区	〃	49,341	108	平成3年5月9日～平成3年8月24日
9	北区	〃	118,618	105	昭和63年3月15日～昭和63年6月27日
10	上京区	〃	83,316	103	平成2年8月23日～平成2年12月3日
11	下京区	〃	71,965	102	平成元年4月1日～平成元年7月11日
11	南区	〃	93,037	〃	昭和62年5月19日～昭和62年8月28日
13	西京区	〃	139,894	98	平成3年4月28日～平成3年8月3日
14	上京区	〃	83,316	96	平成3年4月29日～平成3年8月2日
14	西京区	〃	139,894	〃	昭和62年7月30日～昭和62年11月2日
16	下京区	〃	71,965	92	昭和62年5月10日～昭和62年8月9日
17	中央区	〃	92,702	91	昭和63年6月29日～昭和63年9月27日
18	戸畑区	北九州市	69,968	90	平成元年9月27日～平成元年12月25日
19	下京区	京都市	71,965	89	昭和62年8月11日～昭和62年11月7日
19	〃	〃	〃	〃	平成2年9月3日～平成2年11月30日

1,190市町村(約42%)あったため表には示さなかった。

蛇足であるが、無火災記録、無死者記録の他に、昭和62年から平成3年までの5年間で出火件数の最も多かった日、逆に最も少なかった日等を調べてみた。

最も多かった日は昭和62年4月5月の464件、次いで平成2年3月21日の418件、また1日300件以上発生した日が44日あった。この44日を月別にみると、4月が18日

でトップ、以下3月が13日、2月が6日、12月が4日、5月が3日、その他の月は無しであった。

逆に最も少なかった日だが、残念ながら0件という日は無く、平成3年6月23日の65件がトップ、次いで昭和63年6月30日の66件、また1日100件未満の発生件数の日が188日あり、これを月別にみると9月が53日でトップ、以下7月が34日、6月が31日、10月が29日と続いている。

第6表 人口5万人以上10万人未満の市町村における無死者記録（上位20位）

順位	市町村名	都道府県名	人口	連続無死者 日数（日）	無死者期間
1	多賀城市	宮城県	57,852	1,826	5年間無死者
1	今市市	栃木県	57,362	"	"
1	鳩ヶ谷市	埼玉県	55,745	"	"
1	武蔵村山市	東京都	65,409	"	"
1	祐原市	大阪府	74,891	"	"
1	春日市	福岡県	88,942	"	"
1	糸満市	沖縄県	50,946	"	"
8	松任市	石川県	59,050	1,744	昭和62年 1月 1日～平成 3年10月10日
9	柏江市	東京都	72,388	1,740	昭和62年 3月28日～平成 3年12月31日
10	綾瀬市	神奈川県	77,702	1,731	昭和62年 1月 2日～平成 3年 9月28日
11	宇佐市	大分県	51,598	1,657	昭和62年 6月19日～平成 3年12月31日
12	和光市	埼玉県	54,890	1,630	昭和62年 7月16日～平成 3年12月31日
13	桑名市	三重県	98,106	1,577	昭和62年 1月 5日～平成 3年 4月30日
14	牛久市	茨城県	61,117	1,550	昭和62年10月 4日～平成 3年12月31日
15	秋川市	東京都	50,885	1,534	昭和62年 1月 1日～平成 3年 3月14日
16	上福岡市	埼玉県	58,085	1,522	昭和62年 1月 1日～平成 3年 3月 2日
17	古川市	宮城県	64,449	1,487	昭和62年10月14日～平成 3年1月 8日
18	浜北市	静岡県	81,747	1,483	昭和62年12月10日～平成 3年12月31日
18	交野市	大阪府	65,631	"	昭和62年 1月27日～平成 3年 2月17日
20	宮古市	岩手県	58,272	1,470	昭和62年 1月 1日～平成 3年 1月 9日

第7表 人口10万人以上の市町村における無死者記録（上位20位）

順位	市町村名	都道府県名	人口	連続無死者 日数（日）	無死者期間
1	小金井市	東京都	102,391	1,826	5年間無死者
1	多摩市	"	141,190	"	"
3	河内長野市	大阪府	110,332	1,810	昭和62年 1月 1日～平成 3年12月15日
4	橿原市	奈良県	115,487	1,444	昭和62年 4月10日～平成 3年 3月23日
5	和泉市	大阪府	146,376	1,435	昭和62年 1月 9日～平成 2年12月13日
6	潮戸市	愛知県	124,312	1,219	昭和62年 1月 23日～平成 2年 5月25日
7	流山市	千葉県	139,365	1,177	昭和62年 1月 1日～平成 2年 3月22日
8	八代市	熊本県	109,178	1,094	平成 元年 1月 2日～平成 3年12月31日
9	新座市	埼玉県	136,193	1,071	平成 元年 1月25日～平成 3年12月31日
10	海老名市	神奈川県	105,332	1,050	昭和62年 1月 1日～平成 元年11月15日
11	青梅市	東京都	124,397	986	平成 元年 4月20日～平成 3年12月31日
12	那覇市	沖縄県	307,546	948	昭和62年 4月23日～平成 元年11月25日
13	三郷市	埼玉県	127,960	944	昭和62年 1月 1日～平成 元年 8月 1日
14	焼津市	静岡県	113,690	911	平成 元年 7月 4日～平成 3年12月31日
15	"	"	"	889	昭和62年 1月 7日～平成 元年 6月13日
16	池田市	大阪府	102,427	879	昭和63年 8月 4日～平成 2年12月30日
17	伊丹市	兵庫県	183,215	873	昭和63年 7月18日～平成 2年12月 7日
18	小平市	東京都	158,366	864	昭和62年11月 1日～平成 2年 3月13日
18	佐賀市	佐賀県	167,080	"	昭和62年11月 6日～平成 2年 3月18日
20	甲府市	山梨県	199,282	658	昭和62年 6月16日～平成 元年10月20日

第8表 政令指定都市区（東京23区を含む）における無死者記録（上位20位）

順位	区名	都市名	人口	連続無死者 日数（日）	無死者期間
1	浪速区	大阪市	46,317	1,816	昭和62年 1月 1日～平成 3年12月21日
2	然田区	名古屋市	63,807	1,768	昭和62年 1月 1日～平成 3年11月 3日
3	城南区	福岡市	114,825	1,735	昭和62年 4月 2日～平成 3年12月31日
4	千代田区	東京都	46,240	1,337	昭和63年 5月 4日～平成 3年12月31日
5	中央区	京都市	92,702	1,281	昭和63年 6月29日～平成 3年12月31日
6	西京区	"	139,894	1,251	昭和62年 3月 6日～平成 2年 8月 7日
7	天王寺区	大阪市	52,569	1,224	昭和63年 8月25日～平成 3年12月31日
8	南区	福岡市	226,266	1,134	昭和62年10月31日～平成 2年12月 7日
9	瑞穂区	名古屋市	109,059	1,130	昭和63年 9月11日～平成 3年10月15日
10	右京区	京都市	183,989	1,113	昭和62年 4月15日～平成 2年 5月 1日
11	住吉区	大阪市	157,598	1,089	昭和62年 3月 6日～平成 2年 2月26日
12	西区	横浜市	76,669	1,079	平成 元年 1月17日～平成 3年12月31日
13	鶴見区	大阪市	91,951	1,064	平成 元年 2月 1日～平成 3年12月31日
14	金沢区	横浜市	198,390	1,041	昭和63年 2月19日～平成 2年12月25日
15	灘区	神戸市	124,641	1,025	昭和63年12月27日～平成 3年10月17日
16	旭区	大阪市	103,576	1,020	昭和63年 5月 9日～平成 3年 2月22日
17	旭区	横浜市	249,254	1,012	昭和63年 2月 6日～平成 2年11月13日
18	栄区	"	124,015	983	昭和63年 7月30日～平成 3年 4月 8日
19	麻生区	川崎市	124,972	950	昭和62年 5月28日～平成 2年 1月 1日
20	多摩区	"	170,474	924	昭和63年 8月11日～平成 3年 2月20日